



◆第1回野方地区徘徊搜索模擬訓練が行われます

【認知症による行方不明者が1万人超】

認知症が原因となり行方不明になって届け出を出された人が全国で1万783人（平成26年度）います。大崎町ではこれまでに3人の方が行方不明となり未だ見つかっていません。

認知症になっても、地域の見守りやお手伝いがあれば外出できます。安心して外出できる町を一緒に作りませんか。

【徘徊搜索模擬訓練とは】

認知症高齢者が道に迷って家に帰れず行方不明になった場合を想定し、地域への情報伝達、搜索、声かけ、保護までの流れを模擬的に行う訓練です。

全国的に開催され、町では平成25・26年に立小野地区で実施しました。



日 時 平成27年 **11月29日(日)** 9:00～11:00まで

集合場所 大崎町役場 野方支所

内 容 野方支所周辺で徘徊者役の方が行方不明になります。いくつかのコースに分かれて搜索し、発見したら野方支所まで一緒に帰ってくる訓練です。
本格的な訓練となるよう、野方消防分団と野方駐在所も参加します。

参加対象者 野方地区の住民どなたでも参加できます。（野方地区以外の方も参加できます。）

そ の 他 参加申込は必要ありません。当日は動きやすい服装でご参加ください。



No. 76 社会教育課 生涯学習係

鮫島 新也

青少年活動に関することを担当しています。

～食農交流館『菜ばな』を知っていますか？～

初めて食農交流館を訪れたのは、青少年活動事業の『ふるさと学寮』を通じてでした。学寮では、子どもたちの食事を職員の方々が作ってくださり、野菜だけで作られたメニューはとてもヘルシーで、食べごたえもあり、子どもたちも美味しそうに食べていました。そのおかげで、私も野菜の大切さや美味しさを再認識しました。

今後も、食農交流館の野菜の魅力がいっぱい詰まったメニューをたくさんの人に食べてほしいと思います。

